

甘美なる 人と想ひに 焼き菓子の
出づる嬉しさ 御返しの箱

令和四年二月十七日

大中臣正比呂



ご進物しんもつが来ると祖母は何か「御返しおかえ」を包んでいた。

明治の女性はそのような和文の中に暮らしていた。

その日本の心を、少しロマンチックにして諸兄は歌で

返してみても如何であらうか。